ご恩返しで開講、笑顔生む場に

つくば市で生まれ育ち、高校生の時に習い始めた生け花の腕を活かして「フランジパニ フラワーアレンジメント」教室を開講。華道家として、また「演劇ファミリーＭｙｕ」ファミリーとしてみの～れで活動されている、石岡市東成井地区にお住まいの仲野谷由美さんにインタビューします。

フランジパニ フラワーアレンジメント 主宰

仲野谷（なかのや） 由美（ゆみ）さん

みの～れと共に生活するスタイル

Minole Life のすすめ No.216

ご縁つながる 自分の居場所

「美しいものに触れるのが好き」だった仲野谷さん。高校時代に生け花教室に通い始めました。旅行会社に勤めながら、どんなに忙しくても華道を続け、世界各国の「美」に触れる旅をし、フラワーアレンジ、生け花、プリザーブドフラワーなどの資格を取得。假屋崎省吾花教室で10年以上講師を務めた後、大好きなバリ島に咲くプルメリア（バリ語名：フランジパニ）の花にちなんで「フランジパニ フラワーアレンジ」教室を開講しました。

長男が幼稚園に入園するタイミングで夫の実家のある石岡市に移住。「子どもの人数が少なく、学校が単学級だったことが心配でした」。子育て支援センターに通うなど「とにかくいろんな体験をさせたかった」と仲野谷さん。そして長男が小3の時に出会ったのがＭｙｕでした。体験会に参加したら「長男がすっかり夢中になりました。

Ｍｙｕの保護者同士でよく話題になるのは、「みの～れのような場は本当に貴重だ」ということ。一人ひとりの特技を見つけて活かし、多世代で一つになって取り組み、人々を感動させる作品を作り上げる。「子どもも大人もこんなに成長させてくれる場、ほかに無いですよ。市外の私たちのことも分け隔てなく快く受け入れてくれて、本当に感謝しています」としみじみ。

「子どもがいずれ巣立つ日が来るんだなと感じ、私も何か始めたくなり、Ｍｙｕ保護者有志で太田剛さんからウクレレを教えてもらう場をつくりました。これもみの～れで出会ったご縁のおかげです」。小美玉へのご恩返しのつもりでみの～れとそら・らでフラワーアレンジメント教室を開きました。90分のレッスンでどれだけ楽しませることができるかをいつも意識しています。「大人になるとなかなか褒められないでしょう。特に女性は、家事や掃除もやって当たり前と思われがちですから、あえてレッスン中は下のお名前でお呼びし、一個人として向き合いたいのです」と笑顔。

「娘は裏方が好きで、一緒に小道具を作っています。『私が作ったあの小道具が舞台に出てる』と思いながら本番を観ることで達成感を味わっていて、それは子どもも大人も一緒ですね」。

子どもの居場所と思って探した所が自分の居場所にもなった、という仲野谷さん。「みの～れは親子の居場所です」と笑顔で話してくれました。

（藤田佐知子）